

## 不適合情報

2022年12月23日(金)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。  
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。  
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

[https://www.tepco.co.jp/niigata\\_hq/data/inside/pdf/image1.pdf](https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf)

- 1. G I グレード      0件
- 2. G II グレード     0件
- 3. G III グレード    6件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	2号機	海水熱交換器建屋1階および地下中1階(非管理区域)の天井に、雨水の浸入を確認した。タービン補機冷却海水系ポンプケーブルの被水防止を実施。調査の結果、屋上排水の不良と推定。現場状況を継続調査。	2022/12/20	
2	2号機	タービン建屋地下1階(管理区域)西側通路壁面に、雨水の浸入および排水溝に水溜まり(約210cc、汚染なし)を確認した。当該箇所を点検・修理。	2022/12/20	
3	5号機	原子炉建屋付属棟2階(非管理区域)A系燃料ディタンク室前のケーブル貫通部において、管理区域から非管理区域への空気の流れを確認した。管理区域側の放射能測定を行い汚染のないことを確認済み。当該箇所を養生テープ、シール材で閉止。	2022/12/18	
4	7号機	タービン建屋原子炉補機冷却系(C)熱交換器室の海水ストームドレン排水槽ポンプ点検において、ベアリング部の隙間値が判定基準を超えていることを確認した。ベアリングおよびシャフトを交換。	2022/12/16	
5	7号機	タービン建屋管理区域の北階段室(東上)に、誘導灯の不点灯(1箇所)を確認した。当該誘導灯を交換。	2022/12/14	
6	その他	発電所構内一般排水路の定期水質分析において、No. 4排水路の大腸菌群数が基準値を逸脱していることを確認した。調査の結果、当該排水路上流部(浄化槽出口近傍)の測定では基準値を満足しており、自然由来の大腸菌群を検出したものと推定。事象の発生について長岡地域振興局に連絡済み。	2022/12/16	